

# 9台の機械をLANで繋ぐ

## IoT駆使し1割の効率化を図る

### 内海機械 見える化と多能工で業務改善

単品・超短期納入をコンセプトとして掲げる(株)内海機械(府中市鶴飼町743-1、内海和浩社長、電0847・45・6300)はこのほど、IoTを駆使した管理システムを構築し写真上。業務の更なる効率化を図る。

同社は1949年に創業し、今年で70年目を迎える。金属加工業を営み、工場内に設置する最新の各種工作機械9台を駆使して様々な注文に応えている。内海和浩社長は07年に3代目を継いでから社内改革に乗り出し、15年頃から本格的に実施。顧客の「困りごと」に即応できる体制を作るため、5S

(整理・整頓・清掃・清潔・躰や3定(定品・定位置・定量)、見える化、からくり改善、16大口の改善など行動の最適化に徹底的に取り組み、シヨールームのよ

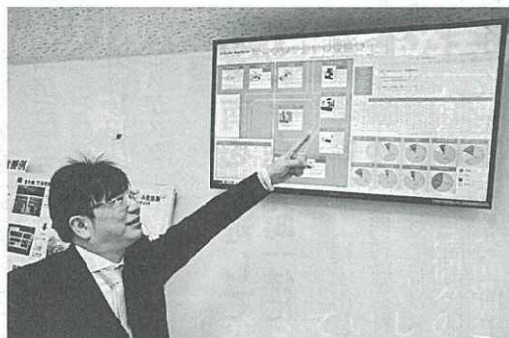


介護用品専門店  
ケア・ステージ

はろけ

☎ 0120-23-0772

も更に見つけやすくなったと



うな工場を実現させ、それによって稼働率3割増を達成した。

機械はメーカー15社から購入しており、各機械の稼働率や状況などは翌日にならないと全体的な把握ができなかったが、このほど開発したソフトによってLANで繋ぐことができ、常にモニター監視することによってリアルタイムで状況把握ができるようになった。さらに、これまでのデータとの比較対照や運転状況のグラフ化も可能で、改善のためのヒントも更に見つけやすくなったと

いう。またキャビネットレス化も進めており、部品や工具などは壁に掛けて見える化・定位置化し、空間の有効活用とデッドストックを避けることができるといった写真上。ここ半年間の改善で空間が確保でき、スッキリとした印象を高めている。



こうした新しいシステム構築によって1割以上の効率化が図れると予想。内海社長は「機械の稼働状況が把握できれば、テコ入れすべき部分や人の配置、組み方の改善など様々な効率化が図れます」と話す。

また、同社では入社後1年以内に10個以上の資格が取得できるようなサポートしており、様々な技術を持った、人員の「多能工」化を図っている。「業務の効率化ができれば時間の短縮や有効活用ができ、その時間を使って勉強や支援、休息などができます。急に休まなければならなくなっても誰かが同じように対応でき、会社全体の効率性が下がることもないので、社員も安心して業務に向かえるのではないのでしょうか」と話した。

同社には業務改善の見本として全国から見学者が相次ぎ(月間15社程度)、広島県企業家同友会福山支部「輝け! 経営者大賞2017」、府中商工会議所新事業アワード2018の新事業部門の大賞も受賞。内海社長は「弊社にはポトルネットワークはなく、ワンストップでできるものづくりの、駆け込み寺として、単品超短期納入で中四国でのNo.1工場を目指しております。ただこうしたことは小さな無駄を省くことの積み重ねです。工場見学を受け付けておりますので、一つの改善事例としてぜひご参考になさって下さい」と呼びかけている。

▽Live X Life Photo School 2019 臨場感写真展 Vol.1 HOLM230 (福山市駅前町坊寺230、電084・976・1122)で3月17日(日)〜24日(日)、午前10時〜午後5時(最終日は午後3時まで)催される。



# 2年連続

# 東京大学合格

## おめでとうございます!

一橋大学 \* 大阪大学 \* 九州大学 \* その他医学部合格多数

医歯薬難関のための  
**内田数学塾**